

平成28年度 公衆衛生事業部活動報告

平成28度の研修会を、下記の通り開催いたしました。

日時：平成29年1月28日（土） 14:00~16:30

場所：広島県健康福祉センター7階 中会議室（広島県広島市南区皆実町1-6-29）

講演

演題 『栄養士に求められる被災者の心と体の健康に配慮した食事支援
—— 災害支援スタッフとして知っておきたいコミュニケーション・マナー ——』
講師 駒沢女子大学人間健康学部健康栄養学科教授 西村一弘 先生

講演内容

すべての緊急時の救援活動や介入は、個人の心と体の健康に影響する。被災者が現状以上の被害を受けることから守り、基本的なニーズ（食糧など）を充足する手助けを行なう技術を身につける必要がある。

これまでの災害支援の御経験から、被災者のストレスや悲嘆反応を理解することの大切さを、サイコロジカルファーストエイド（その人の尊厳・文化・能力を尊重した上で行う人道的対応方法）の理念に基づき講義していただいた。

また、支援者自身のセルフケアでは、受けたストレスのレベルを示す燃え尽きのサイン等について学んだ。



研修の復命

演題 『日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）リーダー育成研修を受講して』
復命者 広島県東部保健所福山支所 真田美紀、広島市安佐南区役所 伊藤夕賀子

復命内容

平成28年9月の3連休、駒沢女子大学（東京都稲城市）のキャンパスを会場に開催されたJDA-DATのリーダー育成研修に参加した。派遣要請により全国各地から約160名の栄養士が被災地にかけつけたという設定で始まった。

被災地の対策本部となる会場で、避難所のアセスメント記録やパッキング、支援物資（離乳食から高齢者対応食品など）の仕分けなどをグループに分かれて行った。

現場での状況把握と即実行というスピード性や、情報の整理と対策本部への報告の正確性が求められる訓練となった。

